

囚姫 I

逆転えんえん



VRMMOR...

きやう

やーね、
Hな風!

キリト君、
今の見た?

い...いや、
何も見てないよ
ハハハ...

な...なあ
アスナ...

今夜
久しぶりに...

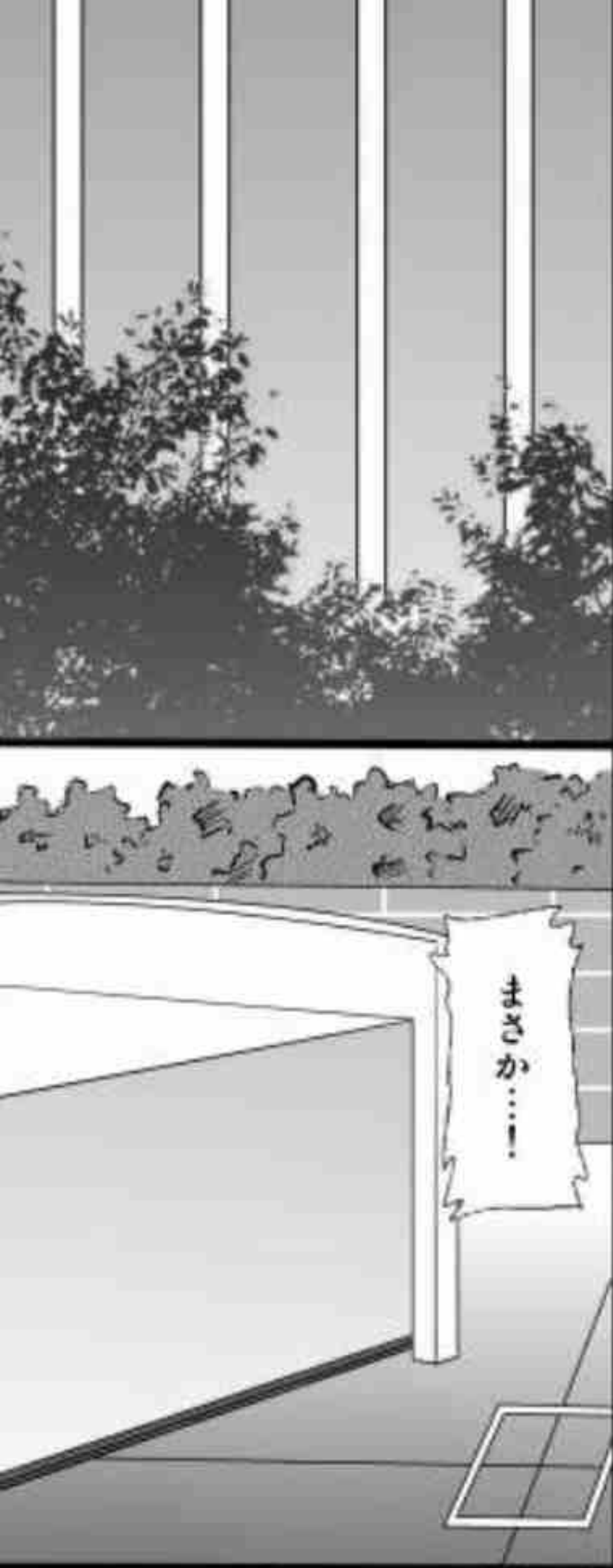
夫婦の営みを
しようじゃないか

実はレアな
アダルトアイテムを
手に入れたんだ

イエイ♡

あ、あれ?
アスナ...?

こっぴど



須郷さん、どうして……？
何故ココにいるの？

あなたは逮捕
されたはず……

一体これは、どう
なってるのよっ

ククク、
逃げ出して
きたのさ

君達に復讐
するためにな

僕はこの世界の神だ

この世界は僕が作った
僕が創造主だ
この世界では、全てが
僕の思い通りになる

そして、理解している
と思うが、もう君は
ここから逃げることは
出来ない

言っておくけど、
もう以前の私じゃ
ないわよ

なんて理解力の
無い女なんだ

私がココに存在すると
いうことが、どういう事
なのか分からないとは…

私はあなたに
屈しない!

きやあああつ

な…
ナニコレツ!



くっ…

卑怯よっ



言ったはずだ
僕はこの世界の
神だと

君を生まれたままの姿
にすることなど、僕には
造作も無いことだ



さらに
こうする
ことで…

君は僕の命令
に、一切逆らえ
なくなる(笑)



股を開いて
僕に見せろ!

なっ…!
なっ…!
なんでっ?!

身体が
勝手に…!

君のアバターの
運動命令系統を
僕の音声入力のみ
に変更した

君はもう自分の意志
では、指ひとつ動かす
ことも出来ない

アバターの裸なんて
見られても平気よ

あなたは人形の
裸を見て喜んでる
ただの変態だわ

分かってないな
君をレクトで維持
していた時、君の身体
は、すでに隅々まで
精密に記録してある
治療目的という名目
でね

つまり、君のその
アバターは、現実の
身体を完全再現
されている。むしろ、
本物以上の出来さ(笑)

どれ、[※]デイトイール・
フォーカシング・システム
で、君のアソコの完成度を
じっくり見せて貰おうか

※フレイヤーが対象物に興味
を示すと、その部分がリアルに
再現されるシステム

ほほう、さすがだ
凄い緻密に再現されてるな
これなら、色も形も、本物と
寸分も違わないだろう(笑)

いいやつ
やめて…
見ないでーっ



四つん這いになつて、尻の穴もよく見せてみる

んんん

んんん

やめっ…
そんな命令
しないでっ

ほほう、
綺麗な尻の穴
じゃないか(笑)

じい

んん

いやっいやっ
見ないでえろっ

間近でお尻の穴
見られちゃってる…

キリトにだって
見られたこと
無かったのに…

どうした？
僕には絶対に
屈服しないん
だろ？(笑)

くわっくわっ…
身体が命令だ
逆らえない…!

はあ

あなたは
哀れだわ…

こんな虚構の世界
でしか、自分を誇示
出来ない惨めな人…

ふむ…しかし、
この世界だからこそ、
出来るコトもある

な…何を…?

ずる



逆らえない……!

あがが……



僕のチンポを舐めろ

そ、そんな命令……

ロキキ



ふふふ、臭うかね？
君が生理的に酷く嫌悪するであろう臭いを、嗅覚再生エンジンでプログラムしたチンポサイズも大きめに再現してあるがね(笑)



な……なに？この匂い……

くさー！

くさー！

くさー！



どうだ？ この方が、君の屈辱感も大きくなるだろう？(笑)

くさー……

へっへ

へっへ

汚い……!

んっ…

んっ…

んっ…

この世界では
この男の命令は絶対…

んっ

んっ

ちゅっ

ちゅっ

もっと
美味しそうな
顔をしたまえ

よしよし

そろそろ出し
ますよ♡

うっ

うっ

うっ

うっ

うっ

うっ

うっ



ちやんと全部
飲むんだ

くさっ
吐きそう。吐きそう...

これ以上、
こんな男の言いなりに
なるわけには...

よし
次は...



僕の尻の穴を
丁寧に舐めるんだ

そっ...
いやっ!

絶対イヤッ



おねがひ
やめひやへて

ククク、
可愛いぞアスナ
私の汚い部分を
君の舌と口で
綺麗にしてくれ

命令を止めへっ

小便
しなさい

くうっ…

命令されると
身体が勝手に
オシッコしちゃうっ

【注】
排泄可能に
システムを変更
されてる

くうっくうっ

ガッ

オシッコ

オシッコ

オシッコ

ああっ

ああ—っ

そら、もう一回
小便しろ！

私じゃない、
オシッコしてるの
私じゃないっ

ふははははは(笑)

すでに5回も
小便してるが、
命令される度
尿意が溢れ出す
だろう？(笑)

オシッコ

どうだ？ 君は
虚構の世界と
バカにしたが

この部屋一杯
クソまみれになる
ほど、君に大便
させることも
可能だが……？(笑)

こんなコト
出来るのは、仮想
世界だけだぞ

おねがっ…
絶対にやめて
……下さい

仮想世界だから
こそ、屈服させら
れることもある…

安心したまえ
僕はそんなにスカトロ
は好きじゃない

ただ、大便には
興味はないが…

君の尻の穴
には、大いに
興味がある

や、やだっ
触らないで…

あ——っ



ほほう、これが
君のアナルの感触か
イイ弾力をしているな
良い香りもする(笑)

そんなに
いじらないでえっ

いやあっ

ああんっ

言った通り、君の
前の穴も後ろの穴も、
質感から匂いまで、全て
完全再現されている

匂いの解析機
まで、病室に持ち
込んだからね(笑)



はああん



キリト君に先を
越された前の穴には、
すでに興味はない

僕との思い出は
後ろの穴に刻ませ
て貰おうか

やめ…



こんなバーチャル世界での出来事なんてしよせん仮想の体験

何をされても全然平気なはず…



あん

あん

はっ…

はあんっ



こんな男相手に感じるわけが無い

ククク…



なのに、なんでこんななに…!

ふあっ

あっ

はあああっ



おかしいっ
こんなはずじゃ...

私、お尻で感じちやう
ような変態だったの？

はんっ

ああっ

ふああっ

キリトとするより、
何故か身体が
反応しちやうっ

ぬりゅっ
ぬりゅっ

ククク...、どうも君は、
自分の意志力で必死に
快楽を抑え込んでると
思っているようだが...

君の快楽など、僕
のさじ加減でいくら
でも調節できる

君は耐えてる
のではなく、ただ
僕に翻弄されてる
だけなんだよ(笑)

何をバカな
コトを...

君が最大限、キリト君
に対して罪悪感を感じる
ように、君の快樂中枢を
調整してあるのさ(笑)

だから、それを
ちよつと上げると…

あああああ

ふがっ

あ

あ

おいおい、
まだ半分も上げて
ないのにコレだ(笑)

そんなら、ウソでしょ？
いきなりイッちゃった…

快樂エンジンに与える
パラメータは、もちろん
完全解析してある

君の感度も
思いのままさ(笑)

やめてっ
上げないでっ







気が済んだ？
この程度で？
この僕が…？



もう…気が
済んだでしょ？

私を帰して…



君の四肢を
部位欠損扱いにした
もう両手足は
一切動かさないよ



なっ…？

手足の感覚が…



彼らは君の
ファンだ

その状態で、彼らに
たっぷりと遊んで
もらいたまえ(笑)

いやっ…
いやっ…

ゆら〜

続く